

宮の森



重文・拝殿踊り

白鳥の拝殿踊りが国重要無形民俗文化財に指定される見通しになった。

発行元・白鳥神社総代会



無形民俗文化財とは、衣食住、生業、信仰、年中行事等に關する風俗慣習、民俗芸能を理解するためのモノが概略の規定。言い換えれば「平凡な人々の間に繰り返されてきた伝承文化」と言えるか。だが、昨今の社会変化で、継承者が減少傾向にあり、今絶滅の危機に瀕しているとも言われる。そんな中での指定である。

現在、日本中で国重要無形民俗文化財は333件。

岐阜県内では十三件目。郡上市では、四件目である。長滝の延年、郡上踊り、寒水の掛踊、拝殿踊りの四件。その内、白鳥に二件あるとは驚きであり、何とも誇らしい事ではないかと思う。

今回の対象は、長滝、白鳥、前谷、貴船、各神社の踊り。それ以外に白鳥には六社で踊られていると聞く。拝殿踊りのルーツは白山信仰にある様だ。白山信仰の修行者や参拝者が念仏踊りとして始めた。

300年程前に、踊られた記録が長滝寺に現存する。これは「踊ってはいけない」と言つ中止命令の書類。他の神社でも踊られていただろうと推察される。歌は場所踊りから始まる。

他所から来た人に歌での挨拶、歌盃で労う。手は後ろに組み、足踏みだけの素朴で静かな踊り。これが終わると下駄が拝殿の板を鳴らし始める。歌の歌詞は歴史、信仰、労働、お座敷歌などの十種類。鳴り物なしの、アカペラで美声を聞かせる。

歌は、歌い手の終わりの隙を見ての取り合いで繋がる。この掛け合いが、他に類を見ない楽しいもの。最近は関東、関西からも来られる。加えて女性の音頭取りも増えてきた。

「浴衣姿に髪結い上げて 見せてやりたや あの人に」老若男女が下駄ばきで拝殿の床を叩く元気のよい文化である。ここで歌われる歌は、皆が座敷で酒を飲むと、必ず、手拍子で歌い出され、歌の取り合いで、夏はさらに盛り上がりつつゆく。歌を覚えれば踊りたくなる。昨今、カラオケの出現で、こうした機会が減って来たのは淋しい限りである。その楽しい雰囲気はカラオケの比ではない。これを機に復活することを期待したい。

年末・年始

十二月十五日(日)例年通り、総代衆総出で新年初詣のお客さん受け入れ準備を行いました。今年はいにくの雪模様、積雪は十センチほど。寒い中での作業となりました。社務所前の屋根造り、灯籠の雪囲い、樹木の雪吊り、本殿と稲荷神社前の門松造り、社務所内は縁起物売店造りと間仕切り、等々に精を出しました。三十一日は本殿と拝殿内秋葉神社の飾り付け、篝火の準備、お神酒配所のテント張等々の準備。

夜は十時過ぎに全員が揃い、所定の位置に付き、篝火に点火します。雪は断続的に降り、参拝者の妨げにならないかと心配する。NHKの紅白歌合戦が終わるころから、参拝者の御姿が見られました。昔は日付が元旦になり、明け方まで参拝者が途絶える事がありました。近頃は、近年は明け方三時を過ぎると途絶え、陽

が昇る八時頃から、多く来られるようになりました。そして夕方まで、平均して参拝されるスタイルに変わってきました。「コロナ期は参拝者も減少しましたが昨年辺りから、従前と変わらない参拝者とお見受けいたしました。



歳旦祭

一月元旦、午前九時〜拝殿にて歳旦祭を催行。歳旦祭は、正月元旦の早朝に執り行つとされています。「旦」という字は、地平線から太陽が昇る形で、夜明け・早朝の意味をもちます。宮司が祝詞を上げ、氏子・崇敬者の一年間の弥栄(いやさか)を祈ります。

白鳥自治会三役と総代の役員が参列して、境内に箏曲・春の海が流れる中、底冷えのする拝殿にて、礼服に威



祈年祭・初午祭

儀を正し、厳肅に執り行いました。本来ならば初詣においでの皆様も一緒に参りいただくとよいと思います。毎年、元日の九時と決めておりますのでお参りください。これが初詣かと思えます。「巳の歳が 安らかなれと 歳日祭」

市会議員を始めとする御来賓、自治会役員、各組長、

総代、計44名の出席のもと、三月二日、白鳥神社祈年

祭、白鳥稻荷神社初午祭を厳肅に執り行いました。

今年は久々の豪雪に見舞われ、氏子の皆様も大変ご苦労された事と思えます。独り住まいのお年寄り、杖道



投稿俳句・その貳

で除雪の進まない所にお住いの方々等、様々なご不便、ご心配をなされた事と存じます。忘れかけていた隣組の連帯の大切さを思い出し、大きな事故もなく、乗り切れた事が救いであったと思えます。昨年は能登半島、今年は大船渡の山林大火災が人々を苦しめました。これらの事をかみしめながら、本年の国家安寧、五穀豊穡、家内安全、商売繁盛を祈念いたしました。

昨年十二月に第一回目の掲載をさせていただきました

した。今回が第二回目ですが、宮の森の発行と投稿にずれがあり、季節が合わない事もありますが、ご理解ください。必ずしも神社を読み込まなくてもよいと思えます。神社に御参拝下さり投函下さることに意味があるかと存じます。沢山御投稿ください。

「銀杏の 実が落ちていて 秋を知る」・・・田中幸子
「柿の葉に 栗きんとんを のせ友に」・・・田中ヒサ子
「宮に来て 生の感謝と 鯉がぞえ」・・・ひだまりじじ
「宮広場 小さな己に アリが寄る」・・・ひだまり会員
「下駄鳴らし 老若男女 盆踊り」・・・蒲郡の人
「我が思い冷めど冷めども恋(鯉)は来る」詠人知らず
「秋が過ぎ 上見上げると 小雪かな」・・・万法臨
「宮の森 神の使いか トビが舞う」・・・寅次郎

令和7年・四月からの行事予定

- 4 / 1・・・宮の森37号発行
- 4 / 3・・・防火祈願祭〜秋葉神社〜自治会主催
- 4 / 13・・・初宮神事・新旧総代歓迎送迎会・宮掃除
- 5 / 3・・・稲荷神社例祭神事
- 6 / 6・・・自治会・総代会二役会議
- 6 / 22・・・宮掃除(自治会と共同)
- 7 / 13・・・境内・秋葉神社草刈り清掃
- 7 / 18・・・例祭打合せ会議〜神楽幹部・総代三役
- 7 / 20・・・初宮神事

総代新陣容

この三月で副総代長の足立好教様、総代の野崎克美様、別府喜利様、野崎正和様、臼井幸夫様、日置捷司様、田口学様、野崎正博様、猪俣強様の九名が退任されました。ご在任中は、白鳥神社に対しまして、篤いご支援、ご協力を賜り、誠に有難うございました。離任されましても当社へのご高配を切に願うものであります。四月からは左記の陣容で護持運営に当たります。変わらぬご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。(赤字は新任です)

- 一号組・・・原 雅彦 二号組・・・曾我和弘
- 三号組・・・古家孝一 四号組・・・渡辺修司

- 五号組・・・日置紀寛 六号組・・・三島 繁
- 七号組・・・野々村薫 八号組・・・曾我敏弘
- 九号組・・・寺田吉幸 十号組・・・松山幸盛
- 十一号組・・・大澤嘉市 十二号組・・・三輪規裕
- 十三号組・・・大矢栄一 十四号組・・・川崎 弘
- 十八号組・・・須甲真司 十九号組・・・渡辺 剛
- 宮司・瀬上孝男、社守・曾我幸男、補佐・川崎 弘
- 総代長・古家孝一、副・野々村薫、副・三輪規裕
- 監査役・曾我 誠、内ヶ島朗、相談役・瀬木重瀧
- 新しい副総代長は野々村薫、三輪規裕は副総代長と総代を兼務です。何卒宜しくお願い致します。

御寄進・ご奉仕

- 一、白米三十kg・・・曾我幸男 様
- 一、大神楽神主下駄一足・・・瀬上博通 様
- 一、手水場建屋塗装・・・足立好教 様
- 一、本殿正面提灯一对・・・正者昌人・みゆき 様
- 一、拝殿正面提灯一对・・・エコー不動産日置捷司 様
- 一、境内重機除雪・・・曾我工務店 様
- 一、境内参拝路小重機除雪・・・野々村薫 様
- 心温かいご寄進、ご奉仕、誠に有難うございます。



御朱印受付

ご希望の方は0575(82)4387・瀬上宮司まで (文責・瀬木)